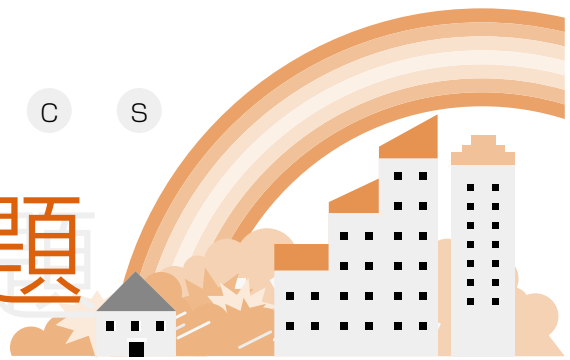


# まちの話題



8月4日

## みなとまちづくりマイスター誕生

「美しく・文化性に富んだ親しまれる港湾空間の形成」に貢献したとして、渡し場かもめ会の神谷正巳会長（芳川町）が前会長・中川庄嗣さんに続いて「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。（一社）ウォーターフロント協会からこの称号が贈られるのは、全国で年に5人。“藤江の渡し”の歴史を伝える同会の活動が実を結びました。10月には恒例の「渡し場まつり」も控えています。海のあるまち高浜市の誇りがまたひとつ増えましたね。



8月6日

## 地域への想いのこもった遊具で遊んでね

湯山公園にサッカー練習用のゴールとネットが設置されました。これは、同町の杉浦則男さんから叙勲の記念として寄付されたものです。ピカピカの遊具に、子どもたちも目をきらきらさせて「大切に遊ぶよ。」「なかよく使います!」と嬉しそうでした。



いらっしゃいませ!

8月24日～28日

## いきいき広場に期間限定カフェ開店!



心身に障がいのある子どもとその保護者の方たちでつくるNPO法人「ハッピーパワー」の企画で、期間限定のカフェがいきいき広場に開店。バイキングのランチを食べに、市民らが訪れ、終始満席の状態でした。子どもたちは、受付や、保護者が調理した料理の補充、接客を担当。大きな声で「いらっしゃいませ」、料理を急いで持ってきて「お待たせしました」と張り切って仕事をしていました。来店者も「おいしい」と笑顔でカレーやスパゲッティを頬ばり、食事を楽しんでいました。

作業を通じて、障がいのある子の可能性を広げ、自信をつけさせたいという保護者の思いで始まったこのカフェ。子どもたちには、この経験を自信につなげ、将来に役立ててほしいですね。